



コスモス

NO.4 1

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

今年度最後の授業参観で、1年間で成長した姿を見ていただきました

1年 生活科「できるようになったよ」

国語、算数、生活科、音楽、図工、体育のグループに分かれて、できるようになったことや、楽しかったことを発表しました。音読、計算カード、アサガオとチューリップの比較、鍵盤ハーモニカ（きらきら星）、縄跳びを披露し、描いた作品紹介しました。その後、4月からの主な行事の写真をスライドショーで見ながら、自分たちの成長や楽しかったことを振り返りました。



2年 生活科「これまでのわたし これからのわたし ~できるようになったよ発表会~」

生活科の学習で、この1年間で自分ができるようになったことを振り返りました。粘り強く学習に取り組んだからこそできるようになったんだと気付き、自信をもって発表できました。学級みんなで取り組んだ群読や合奏、ダンスも楽しく発表できました。これからも、できることをどんどん増やしていきたいです。



3年 総合的な学習「男らしい」「女らしい」とは何だろう（人権・同和教育）

「男だから」「女だから」と決めつけると、悲しい気持ちになる人がいます。男女のあり方は多様であることを知り、お互いを認め合うことの大切さや、自分らしく生きることの大切さに気付くことをねらいとした授業でした。子どもたちは、それぞれの好きなものの違いなどから、男女による決めつけは良くないと気付き、真剣に、そして柔軟に考え、積極的に発言できました。



4年 総合的な学習「10才のつどい」

10才の節目に、これからどんな自分になりたいのか、1文字の漢字に思いを込めて、どの子も大変堂々と発表しました。なりたい自分に向かって、これからやりたいことを真剣に考えることができました。また、詩で感謝の気持ちを伝えました。後半は、国語の勉強をきっかけに始めた百人一首を、親子で楽しみました。



5年 総合的な学習「池のていぼうが切れるどう！」（人権・同和教育）

お互いが納得できる解決方法を考え、自分にできることから行動しようとする態度を育てたいと考えました。読み物の中の人々の願いに触れ、「悲しい怒り」について考えました。初めは一方だけに賛成する意見ばかりだったのですが、グループやクラス全体で話し合っていくうちに、どちらも納得できる答えを出すためには、住む場所による差別を許さず、話し合い、協力することが大切だということに気付くことができました。



6年 総合的な学習「染め一揆」（人権・同和教育）

差別されてきた人たちが書いた嘆願書から、誠実に年貢を納める姿や質素な暮らしぶりを読み取り、人々の生き方を考えました。人々の思いを班で話し合い、嘆願書には、「差別を強める法律を撤回してほしい」「百姓と区別しないでほしい」等、差別に対する怒りや悲しみが込められていることに気付きました。差別のない世の中をつくっていくことを改めて決意しました。